

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県安城市立東山中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒446-0001  
愛知県安城市里町東山1番地

E-mail : higashiyama@anjo.ed.jp

Website : http://www.anjo.ed.jp/~higashiyama/

児童生徒数：男子 409名 女子 392名 合計 801名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

里にホタルを！

～東山中学校 1 年生総合的な学習の時間「私たちの生活と環境」を通して～

昨年度末に、地域の方が学校を訪れ、「ホタルと一緒に育てたい」、「宅地開発や農薬使用などが原因で、今はもうこの辺りでホタルを見なくなったが、なんとかもう一度この地に飛ばしたい」という、強い思いを話されていった。ホタルの飼育は、地域の環境問題にも密接しており、生徒の環境に目を向ける意識も高くなると思われた。

そこで、1 学期はホタルの飼育を中心に学習を進めた。みんなでホタルを飼育する水槽を準備し、日々世話をし、観察をした。6 月のホタル鑑賞会には、1 年生だけでなく、2・3 年生の生徒や地域の方など、約 800 名の方がホタルを見に来られた。自分たちが育てたホタルがきれいに輝くところを見て、多くの生徒が喜んだ。

2 学期は、なぜホタルはいなくなったのか考えることをきっかけに、地域の環境問題について調べる活動を行った。地域の川の水質調査や生物調査、昔ホタルが棲んでいたところとそうでないところの光量調査、近年の都市化や農薬の使用について市役所へ話を聞きに行く活動を行った。追究を進めていくと、学校の北側では、下水道が完備していないために、生活排水が流れている現状に気づいた。11 月には境川浄化センターの方を招き、下水道について出前授業を行っていただいた。そして、どうすれば地域の環境がよくなるのか、私たちにできることを考えた。

3 学期は私たちにできることを行動にうつした。ホタルの幼虫の里親を募集したり、給食の残飯を出さないようにチラシやポスターを作成したり、洗剤を必要以上に使わないように呼びかけたり、川の清掃活動を行ったり、廃油石けんをつくり、その使用を呼びかけたりした。実際に行動することで少しでも地域の環境をよくして、地域を愛する心を育んだ。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ( )